

岡山県倉敷市ボランティア活動報告

2018年11月5日(日)～8日(木)

NPO法人

リニューアル技術開発協会

Renewal Technology Development Committee



被災状況

岡山県倉敷市の真備地区は2018年7月、豪雨による影響で近くを流れる小田川の堤防が決壊し、大量の水が真備町へ流れ込み、甚大な被害に見舞われました。



(当時の写真)

参加メンバー

今回は東京から車で約8時間、ダンプカー4台、解体業者や設備業者など総勢20名での活動となりました。



活動記録:11月6日

6日朝、真備ボランティアセンターに集合し、ボランティアを必要とされるお宅のリストが渡され、3班に分かれ被害宅に向かいました。



(ボランティアセンターにて)

活動記録:11月6日

被害宅へ向かう途中、真備町内を走行しましたが、1階部分は全て浸水していて、ほとんどの方が避難されている状態でした。現地の方のお話によると1階天井付近まで水が流れ込んできたとのことでした。



活動記録:11月6日

1件目の復旧活動は、築2年目の新しい住宅で、ご家族が避難されている中、作業を行いました。作業の依頼内容はユニットバス、台所レンジフード周りの解体作業でした。ユニットバスは問題なく使える状態でしたが、ユニットバス裏の断熱材に水が含まれているため、止む無くユニットバスを解体撤去しなければならない状況でした。



活動記録:11月6日



活動記録:11月6日



活動記録:11月6日



(作業後 廃材収集所へ持ち込んだダンプカーで運搬)

活動記録:11月6日

2件目の復旧活動は、築30年以上と思われる住宅で、ご家族は2階でなんとか生活をしている状況でした。作業の依頼内容は、浴室コンクリート部分の解体及び搬出作業でした。昔ながらの造りなので浴室をコンクリートで頑丈に作られていたと思われます。約2トンのコンクリートガラを解体及び搬出し、この日の作業は終了となりました。



活動記録:11月6日



活動記録:11月6日



(1日目ボランティアセンターへ活動報告後、昆野事務局長による終礼)

活動記録:11月7日

7日朝、再び真備ボランティアセンターに集合し、ボランティアを必要とされるお宅のリストが渡され、3班に分かれ被害宅に向かいました。

1件目は、浸水により被害を受けた1階の洗面化粧台、便器、浴室の解体撤去作業でした。（給排水管の後始末含む）



活動記録:11月7日



活動記録:11月7日



活動記録:11月7日



活動記録:11月7日



活動記録:11月7日

2件目、近隣で作業しているもう1チームの応援に。
こちらは、2階まで浸水していて作業が大量でした。



活動記録:11月7日



活動記録:11月7日



活動記録:11月7日



(近隣の消防署も閉鎖しています)

活動記録:11月7日



(町の風景)

活動記録:11月7日



(町の風景)

活動記録:11月7日



(町の風景)



活動記録:11月7日



(町の風景)

活動記録:11月7日



(町の風景)

活動報告まとめ

今回は、現地からの要請により、配管工、解体工、ダンプカー運搬作業を求める、まさに当協会が本領を発揮できる内容でした。

現地では、作業員が確保できず、浸水部分の室内の内装仕上げの撤去など特別な技能が不要な作業は被災者がご自分で作業を進めているところがほとんどでしたが、住宅設備機器類の撤去や配管の切り回し作業が伴う部分は、まったく手配できない状況のようでした。

これまで、当協会では、東日本大震災ボランティアを中心に人力による作業がほとんどでしたが、今回は初めて【建設作業】が求められ、まさに当協会の知識や技能が発揮できた活動だったと思います。

今後も活動をしていきますので、皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

